

## 2018年度 10月 理事会議事録

1日時：2018年10月18日（木）19:00～21:28

2場所：神奈川県作業療法士会事務所

### 3理事会定数

出席理事：錠内・木村・野々垣・金山・吉本・佐々木・奥原・神保・玖島・遠藤・野本・  
遠藤・野本・作田・澤口・佐藤・大郷 計15名

欠席理事：名古屋・村越 2名

出席監事：糊澤・田中 2名

その他：横山・池田（書記 事務局員）

### 4議長団選出

議長：錠内会長

副議長：木村副会長

議事録署名人：野本理事・糊澤監事

### 5配布資料

- (1) 資料1 次年度各部・委員会事業計画
- (2) 2018年10月18日理事会 各部・委員会提出資料
- (3) 資料3 研修会収入見込み
- (4) 資料4 ウェブサイト管理委員会資料、公益法人化対策委員会資料、渉外報告
- (5) 当日配布資料
  - 1) 中間監査報告
  - 2) エリア化構想準備委員会 進捗報告

### 6回覧資料

- (1) 国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局パンフレット
- (2) 北海道作業療法士会 北海道作業療法
- (3) 第7回杉浦地域医療振興賞・杉浦地域医療振興助成報告集

### 7審議事項

- (1) 重点課題の要旨
  - 1) 監事
    - ①中間監査報告

榑沢監事より中間監査の報告がある。活動ならびに収支はおおむね健全に遂行されているが以下の改善提案がなされる。

- ・上半期の事業活動の報告がない部署がある。
  - ・各部委員会の長は事業遂行および会計に関して管理責任をもち、今後も適正な運営に努めてほしい。
- ⇒各部門で 1 か月ごとの会計・理事の間で報告書のダブルチェックの徹底に努めることを再確認する。

## 2) 三役

### ①次年度事業計画について

#### (ア) 中長期計画について

提案した中長期計画を進めると会長より説明がある。

#### (イ) 各部の次年度計画について 審議内容（詳細）参照 次年度の計画について発表した。

## (2) 審議項目の要旨

### 1) 事務局

#### ①後援依頼について

サイボウズでも意見交換もなされたが、現在ルールがないため、一人でも反対意見があった場合、断ることで確認する。規約でルールを文章化していく。

#### ②研修会の領収書の書式変更について

案をメールで配信し、意見交換をしていく。

### 2) エリア化構想準備委員会

現在までの進捗状況が報告される。12月20日の理事会終了後の20:30ごろから今後のエリア化構想について第2回全体会が開催されることが提案される。

### 3) 公益法人化対策委員会

#### ①公益事業一覧表（案）の提案

次年度はすでに計画されているので次次年度の参考にしていく。

## 8 審議内容（詳細）報告

### (1) 監事

#### 1) 中間監査報告

榑沢監事の中間監査後、吉本理事より補足説明がされる。

#### ①補足説明

- ・上半期の事業活動がない部署がある点は、何回も監査で指摘されている。事業計画を立てて、社員総会で承認された計画を実行、遂行していないということは、活動する必要がないという認識を持たれてしまうので、きちんとしてほしい。
- ・理事には会計に関しての管理責任をきちんと担ってほしい。会計ファイルに名前と印

鑑を押して出すことになっていて、毎月ダブルチェックのルールになっている。いくつかの部署で会計の方に任せてしまっているところがある。1ヶ月の出納帳が正しいかどうか確認してほしい。会計と理事のコミュニケーションが取れていないところがある。

## ②下半期に改善してほしいこと

- ・部員の個人口座や部署口座を振り込みに使用しない。

個人口座を法人口座として使うのは法的に問題ないが、私用利用として混同して利用している場合は、税務上の処理や金融機関との信頼関係の構築に大きな問題となる。手渡ししか現金書留にすること。

## ③質疑応答

- ・個人口座からの事務局に参加費など振り込みは？(奥原)

→してはならない。個人の資産も入っていると、社会的に疑われてしまう。手数料は予算から出す。(吉本)

- ・夜間に振り込むと手数料がかかる。(澤口)

→手数料も予算に組み込む。交通費の振り込みや印刷費の振り込みも禁止。県士会のルールとなっている。(吉本)

- ・会計マニュアルに個人口座についての記載はされているのか。次年度に会計説明会があるので、紙面上で伝えてほしい。(木村)

→記載はされていない。改定していく。(吉本)

⇒事業費の振り込みは個人口座に直接振り込まないこと、手数料がかかってもかまわないので透明性の高い会計に努めること、各部門で1か月ごとの会計・理事の間で報告書のダブルチェックの徹底に努めることを再確認する。

## (2) 三役

### 1) 次年度事業計画について

#### ①中長期計画について

前回理事会で提案した2019年度～2022年度の中長期計画についてサイボウズも利用し意見を募った。意見がなかったため提案した中長期計画を進めると会長より説明がある。

#### ②事務局

- ・会議室として県士会事務局を有効活用してもらうため、修繕費・消耗備品・wi-fi設備の導入を検討。

→公益事業ではスタッフの人件費も事業費としてカウントされる。事務局の仕事内容を共益/公益に整理する必要があるのでは。(名古屋)

事務局の仕事内容を見直し、システムの提案を検討する。

- ・神奈川県三団体協議会：次年度は100円以下×会員になる予定(今年度は120円×会

員)。

- ・エリア化推進委員会は今後特設委員会にする。

次年度は県内 8 エリアで会員に対してヒアリングを行う（ヒアリングの対象として代議員に参加してもらう）。

#### ③財務部

- ・公益法人に対応できるシステムの導入（税理士やクラウドの利用）に関しては、他の部署との兼ね合いで決める。

#### ④学術部

- ・スキルアップ研修事業に関して、無料で利用できる会場を使用するため経費削減が可能。
- ・研究助成事業に関して、助成金支給後の研究の進捗状況を確認し、組織的に介入していく。
- ・学術誌刊行事業では、県士会事務局に本部を置き、原稿や個人情報の保護などの管理を行う。それにともない学術部の独立した PC の購入を検討している。  
→備品の共有ができないか事務局と相談。

#### ⑤教育部

- ・一部のスタッフに負担がかかっているのでスタッフの増員を検討している。
- ・実習指導者講習会を開催するのであれば 15 万ほど計上したい。実施部署の取り扱いについて三役で検討してほしい。→経緯を含めて事務局から報告する。

#### ⑥広報部

- ・ニュースについては 130 人増と想定している。来年度の新入会委の予想数を事務局から提供してもらう。
- ・対外広報事業について、一般向けイベントブース出展・参加の増加のため増員を検討している。イベント回数は増えているが、対応できる部員が少ないので増員は急務。次年度は 5 回増の 15 回で想定している。
- ・イベントで配布するグッズが少なくなっているので予算化している。

#### ⑦福利部

- ・例年通りの運営を検討。

#### ⑧地域リハビリテーション部

- ・例年通りの運営を検討。

#### ⑨制度対策本部

- ・明日から使える環境スキルの参加者が例年少ないが、啓発し増えてきている。
- ・自動車運転と作業療法に関しては二俣川の教習所に作業療法士が入職したこともあり、班での活動にしていきたい。

→共益となっているが公益にはならないのか。(澤口)

まずは共益事業として会員に周知したい。(野本)

- ・災害対策についてどこの団体も力を入れている。他団体との関係もあるので独立または事務局に戻す方法もあるのではないか。  
→神奈川県士会として災害対策にどう取り組んでいくのかを検討してほしい。被災地での活動は医師がいないと動けず、被災地で受け入れてもらえない。職能団体としてどうするのか方向性を検討していく必要がある。(大郷)
- ・現状は、安否確認システムとボランティア情報の発信を中心に活動。情報の齟齬ややり取りの不備が生じないように事務局と連携する。

#### ⑩規約委員会

- ・例年通りの活動を検討。
- ・定款・規約集は web からダウンロードすることとし、紙面化しない。

#### ⑪ウェブサイト管理委員会

- ・例年通りの活動を検討。

#### ⑫学会評議委員会

- ・学会運営積み立ては従来通り。
- ・学会評議委員会としては2か月に1回程度の会議でマニュアルづくりを行っていく。

#### ⑬公益法人化対策委員会

- ・会計諸表が事業ごとでないため判断しづらいが、事業別に公益/共益の選別を行っていく。

#### ⑭MTDLP 推進委員会

- ・いつまで特別委員にするかは検討が必要。  
→現在の受講率はどのくらいなのか。(野本)  
35%程度。ほぼ新入会員。(木村)
- ・MTDLP 研修の講師ができる人材が2名しかいないため増やしていく。

#### ⑮認知症対策委員会

- ・認知症のポータルサイトを目指し、動画もアップしていく。
- ・交通費、会議費の削減の一環として web 会議を導入し、集まる会議と web 会議を併用していく。
- ・認知症に関する認知度が高まるにつれ、認知症カフェが乱立している。一方で、家族は楽になっていない。2019 年は相談の年、2020 年は実行できるよう関わっていきたい。

#### ⑯地域包括ケアシステム推進委員会

- ・横浜市地域リハビリテーション活動支援事業は増加傾向。産休の委員もいるので部員 9 名と外部 5 名で対応しているが各区に 1 名の委員が置けるようにしていきたい。
- ・新規事業として県民向け介護予防セミナーの開催を検討中。

### (3) 事務局

- 1) 重点課題 なし

2) 審議事項 審議事項の要旨参照

3) 報告

①OT 協会より

(ア) PT 協会理事で国会議員の田中昌史氏の政治活動支援依頼 応援個人カード締切 10 月下旬

(イ) H30 年度第 2 回 47 委員会 (延期分) 10 月 7 日 澤口理事出席予定

(ウ) 認知症担当者会議 10 月 27・28 日 佐藤理事、杉本氏、山口氏参加予定

②神奈川県より

(ア) 災害時要配慮者に係る取組アンケート依頼 制度対策部災害班と対応中

③医療職連合会

(ア) ハローよこはま 10 月 7 日 対外広報班依頼済

(イ) 研修会 10 月 24 日 19:00~情文ホール「医療と介護のクロスロード 同時改定とチーム医療」

④関係団体

(ア) 神奈川県病院協会 第 3 回学術委員会 錠内会長欠席のため資料送付あり

(イ) 神奈川県言語聴覚士会 会長変更 金井枝美氏

(ウ) 神奈川県病院医療関係団体連絡協議会 10 月 17 日 16:30~会長、木村副会長参加予定

(エ) 神奈川県立保健福祉大学 H30 年度ヒューマンサービス公開講座 10 月 20 日 13:00~かながわ県民センター

⑤その他

(ア) 第 3 回臨床大会学生交通費 補助金申請あり 9027 円支払い済

(イ) 神奈川県最低賃金変更 983 円へ

(ウ) 国土交通省 土地・建物調査 返信済

(エ) エクスフォーム導入開始

(オ) 事務局物品購入 イス 5400 円+税

(カ) ファイルメーカーの修正 昨年に続き友利幸之介氏 (東京工科大学) 氏に依頼

(キ) 火災保険満了に伴う更新 2 年 21,250 円

(ク) 事務局専従職員就労規則打ち合わせについて 8 月 3 日に引き続き 9 月 28 日にも打ち合わせ実施した

⑥後援

(ア) 日本マネジメント学会第 18 回神奈川支部学術集会 前年度・今年度も後援

(2) 財務部

1) 重点課題 重点課題の要旨参照

2) 審議事項 なし

3) 報告

- ①県学会実行委員会 9月18日出席,10月4日出席
- ②臨時三役会 9月20日出席
- ③三役会 10月4日出席
- ④管理・事務部門会議 10月9日出席
- ⑤中間監査 10月13日実施

(3) 学術部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告

①スキルアップ研修事業（講習会，今年度予定分）

(ア) 入院治療と地域支援をつなぐ 私たちができる精神科作業療法とは

講師：榭澤直美氏（湘南医療大学保健医療学部准教授 作業療法士）

日時：平成30年9月2日（日）13:30～16:30 場所：ハーモニーとよおか

参加数：22名（終了）

(イ) CI療法の理論と実践

講師：高橋香代子氏（北里大学医療衛生学部教授 作業療法士）

竹林崇氏（吉備国際大学保健医療福祉学部准教授 作業療法士）

日時：9月24日（月・祝日）10:00～16:00 場所：北里大学

参加数：115名（終了）

(ウ) 高次脳機能障害の作業療法～明日から使える，治療につながる評価の実際～

講師：森下史子氏（済生会横浜東部病院 作業療法士）

日時：10月20日（土）場所：済生会神奈川県病院

参加数：80名（予定）

(エ) リウマチの作業療法～私たちOTにできること～スプリント療法を中心に

講師：中西理佐子氏（横浜南共済病院 作業療法士），医師，薬剤師（予定）

日時：11月23日（金・祝日）13:00～16:00 場所：横浜南共済病院

参加数：50名（予定）

(オ) 『毎日の実践をもっと楽しみたい！』認知症の生活支援で私たちができること

講師：渡邊信介氏（介護老人保健施設 鶴舞乃城 事務長・作業療法士）

小滝治美氏（初富保健病院 千葉県理学療法士会理事 理学療法士）

日時：12月9日（日）13:30～16:30 場所：ハーモニーとよおか

参加数：50名（予定）

(カ) 研究ははじめの一步～押さえておきたい研究周辺知識～

講師：内田健太郎氏（北里大学医学部整形外科学講師 医学博士 臨床工学士）

日時：12月8日（土）13:00～16:00 場所：イムス横浜国際看護専門学校

参加数：70名（予定）

(キ) 脳血管疾患に対する運動機能改善のアプローチ(仮)

講師：田邊浩文氏（湘南医療大学保健医療学部リハビリテーション学科教授 作業療法士）

日時：平成31年1月20日（日）10:30～16:30（仮）会場 未定

参加数：30名（予定）

(ク) クライシスプラン&リスク管理（仮）

講師：星竜平氏（訪問看護ステーションみのり横浜 作業療法士）（予定）

武井寛道氏（藤沢病院 作業療法士）（予定）

立山和久氏（久里浜医療センター 作業療法士）（予定）

日時：平成31年2月（未定） 場所：藤沢市民会館（予定）

参加数：40名（予定）

②平成30年度研究助成事業 支給者決定

本年度の申請者は、研究Ⅰ（研究組織2人以上の一般会員）が1名、研究Ⅱ（免許取得後7年目までの若手会員）が2名の合計3名。書類審査および合議審査の結果、3名全例に対し助成金を支給することになった。本年度の助成金額は40万の予定だったが8月23日の理事会にて10万円の補正予算が承認され、助成金額は合計49万8,200円となっている。HP報告済み、ニュースは12月号にて掲載予定。

研究Ⅰ：佐野 邦典氏（横浜市立大学附属市民総合医療センター）

作業療法が心疾患術後患者におけるせん妄および心身機能に及ぼす影響：縦断的分析による検討 185,000円

研究Ⅱ：佐藤 範明氏（昭和大学附属烏山病院）

精神科スーパー救急病棟における作業療法実践の現状と課題 133,200円

研究Ⅱ：萩原 祐氏（湘南慶育病院）

脳卒中重度麻痺患者に対する上肢機能アプローチの方略の解明 180,000円

③学術誌「神奈川作業療法研究」の新編集部の設立と活動報告

現在、編集部（幅田編集長、編集部員4人計5名）で運営体制としている。今後も編集部員を募集し長期的に安定した編集部の確立を目標とする。

(4) 教育部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告

①研修会予定報告

(ア) 現職者選択研修：身体障害領域の作業療法



日時：12月16日（日）9:15～ 会場：ウィリング横浜 参加費：4,000円

内容と講師：「身体障害領域の基礎知識」田邊浩文氏（湘南医療大学）

「急性期の作業療法」大森みかよ氏（聖マリアンナ医科大学附属病院）

「回復期の作業療法」藤本一博氏（茅ヶ崎新北稜病院）

「生活期・終末期の作業療法」西尾香苗氏（関東病院）

(イ) 現職者選択研修；精神障害領域の作業療法

日時：2019年2月24日（日）9:15～会場：ウィリング横浜 参加費：4,000円

内容と講師：「精神障害作業療法の基礎知識」水野健氏（昭和大学附属烏山病院）

「精神障害作業療法の展開」小砂哲太郎氏（久里浜医療センター）

「精神障害作業療法の実践」武井寛道氏（藤沢病院）

「精神障害作業療法関連のトピックス」魚岸実弦氏（横浜舞岡病院）

(5) 広報部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告

①ニュース

・順調に年6回発行を実施できている。

②対外広報

(ア) 活動報告

ア) 8月26日ビックレスキューかながわ 海老名三川公園

・毎年神奈川県内で行われる防災イベント 昨年は小田原 今年海老名市開催

・今年度は理学療法士会と共同出展した

・OTは制度対策部災害対策班と広報部で協力して活動した

・内容は、段ボールベッドの展示、パンフレット配布（高齢者・発達障がい児等の避難時の注意啓発）、介護相談など

(イ) 活動予定

ア) 10月7日はろーよこはま 横浜スタジアム周辺 医療専門職連合会で共同出展

イ) 11月4日介護フェアINかながわ 横浜そごう新都市ホール PTSTと共同出展

ウ) 11月14日川崎介護いきいきフェア 川崎市高津区 かわさきJプロジェクトと協力出展

エ) 11月17日ウィーログアプリ地域調査イベント参加 海老名市海老名駅周辺

オ) 2019年2月神奈川県介護支援専門員研究大会 ブース出展

カ) 31年時期確認中 地域リハフォーラム ブース出展

(6) 福利部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告

①求人掲載(2018.8.7~10.1)

新規掲載：26件、変更：1件、削除：1件

(7) 地域リハビリテーション部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告

①研修会企画

(ア) 多職種精神保健セミナー

日程：11月11日(日) 会場：横浜市総合保健医療センター

(イ) 特別支援教育など講習会

日程：11月4日(日) 会場：横浜リハビリテーション専門学校

(ウ) 地域リハ人材育成研修会(介護予防編)

日程：10月28日(日) 会場：ウィリング横浜

(エ) 地域リハ人材育成研修会(地域ケア会議編)

日程：11月4日(日) 会場：横浜YMCA学院専門学校

(オ) 地域包括ケアシステム三団体合同研修会

日程：2019年2月24日(日) 会場：未定

(カ) 難病リハビリテーション講習会 2018

日程：2019年2月10日(日) 予定 会場：ウィリング横浜

②神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告

(ア) 研修会予定

ア) 医療介護連携研修会

日程：12月1日 場所：AP横浜駅西口予定 定員：60名予定

イ) 訪問リハ学術集会

日程：2019年1月20日(日) 会場：関内新井ホール

チラシを士会のニュースに封入予定。

ウ) 三団体協議会5周年記念パーティーについて

日程：2019年2月24日(日) 地域リハ三士会合同研修会終了後、同じ建物内

対象者は各士会理事と協議会委員・局員 時間：13:00~14:55

③その他

(ア) 介護予防従事者研修会(県主催)

例年通り、OT 県士会にも協力依頼あり

ア) 相模原会場 (麻布大学)

日時：2019 年 1 月 12 日 (土) 13 日 (日) 10:00~17:30

イ) 横浜会場 (関内新井ホール)

日時：2019 年 2 月 10 日 (日) 11 日 (月・祝) 10:00~17:30

(8) ウェブサイト管理委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告

① 各部署のページの更新 (2018 年度版への書き換え) 依頼 (継続)

② SSL サーバ証明書 更新について

2018/8 承認。SSL ラピッド SSL RS (1 年) から JPRS ドメイン認証型 SSL へ変更  
手続き終了。契約料：1,836 円 / 2 年

(9) 学会評議委員

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告

①10 月 2 日 第 1 回 学会評議委員会会議開催

・第 4 回 (2020 年) 臨床作業療法学会大会長→今月中に交渉・確定できるようにする

・第 18 回 (2021 年) 神奈川県作業療法学会学会長→11 月 20 日 (火) 会議で検討

・第 17 回 (2019 年) 神奈川県作業療法学会での学会評議委員会の役割分担を決定

②第 17 回神奈川県作業療法学会

・9 月 18 日 (火) 実行委員会開催

(10) 公益法人化対策委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 審議事項の要旨参照

3) 報告 なし

(11) 認知症対策委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告

ボランティア活動保険に加入した。

(1 1) 地域包括ケア推進委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告

①横浜市地域リハビリテーション活動支援事業セミナー開催

日時：8月22日、29日 19:30～20:30 場所：横浜 YMCA 学院専門学校

参加者：8/22(水)8名、8/29(水)13名

②横浜市介護予防人材の育成講座について

9月6日、18日の二日間で講師を担当。100名超の参加者があり、好評であったとのこと。

③地域リハビリテーション活動支援事業研修会（横浜市主催）

日時：12月13日（木）19:00～20:30 会場：横浜市社会福祉センター

対象：PT、OT、ST100名

④地域包括ケアシンポジウム（委員会主催）

日時：2019年1月13日（日）14:00～17:00 会場：あーすぶらぎ

費用：会員 1,000円、会員外 2,000円

9次回理事会日時・場所

- (1) 三役会開催日 2018年12月6日（木）19:00～
- (2) 理事会開催日 2018年12月20日（木）19:00～
- (3) 会場 一般社団法人神奈川県作業療法士会事務局

以上（文責：横山・池田・金山）

議事録署名人	議長	:	錠内	広之	印
	理事	:	野本	義則	印
	監事	:	糊澤	直美	印